

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1173800432		
法人名	株式会社 ユニマツト・リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	加須グループホームそよ風		
所在地	埼玉県加須市平永939-4		
自己評価作成日	平成28年2月10日	評価結果市町村受理日	平成28年4月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	平成28年2月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

他施設では、受け入れが困難な方でも、出来るだけ受け入れを行っている。
ご家族、利用者にとって、何が必要なのか十分に検討し、医療との連携において、安定した生活が送れるように支援している。内科医(主治医)、精神科医、訪問看護師との連携も良好で、施設での看取りに繋がっている。
当施設の醍醐味は、利用者様の尊厳を大切に、職員が専門職としての意識と知恵を持ち、利用者の添ったケアを実施している事にある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・利用者・家族にとって何が必要なのかを十分話し合い、利用者が安定した生活が送られるよう主治医、精神科医や訪問看護師などとの連携を図り、事業所での看取り介護にも取り組まれているほか、職員が専門職としての意識と知恵を持ち、利用者の現状に即したケアが実施されている。
・ご家族のアンケートでも、「母の身体の状態や毎日の生活の中で変化していることなどを細かく報告して下さいます。他の家族さんと話すことがあります、どの利用者に対してもまったく同じく温かい気持ちで接しているようです」、「家族では対応できないことまで対応いただき、大変ありがたいと感謝しています」などのコメントが寄せられ、親身にお世話する職員の対応に高い評価が得られている。
・目標達成計画に達成状況については、職員を育てるための研修の強化と利用者の日常的な外出機会を増やすことに取り組み、病院主催の研修や法人の実践研修などに参加されたこと、また、外気浴を含めて小学校の運動会や映画館、買い物に出かける機会が増えたことから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	定期的に全体会議を行い、基本理念、方針、介護職として研鑽を積んでいます。各ユニットに理念を掲示し、常に確認をとっています。	家族にも参画いただき、新管理者のもと理念の見直しが行われ、忙しさを理由に利用者に寂しい思いをさせないこと、サービスの向上のため職員のケアも忘れないことなどが理念を通して実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や外出時、事業所での行事の時に、地位の方々を積極的にお呼びし、地域との密着を強化しています。	事業所のイベントには民生委員、オーナーをはじめ地域の方、ボランティアの参加を得るなどの交流が図られている。また、地域の小学校の児童が運動会の案内を持ってきてくれ、見学にも行かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所に相談等が、あった場合は親身になり、ご本にやご家族の意向に添った支援やアドバイスをさせて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での評価を真意に受け止め、各分野との連携を図り、サービス向上に努めています。	定期的開催され、防災訓練に家族や市担当者、民生委員にも参加いただき、問題解決への取り組みを話し合われている。また、会議で出された提案などは事業所内で検討され、運営にも活かせるよう取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や地域密着型サービス事業所連絡会等でケアサービス等問題点を市と協力しながら認知症への理解が広く深まるよう取り組んでいます。	日常的に情報交換や連携が図られ、運営推進会議では専門的なアドバイスをいただいている。また、市主催の地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、共同で職員募集の広告を出すなどの取り組みも行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の理解を深める為に、会議を開き、ケアを向上させ、職員間で常に確認しあっています。	暴力や徘徊などの行為を受け入れ、その原因を考えて対応することで、身体拘束や虐待につながらないよう努められている。現在、ミソンの使用があるが、必要な手続きを取り、限定的な使用に留めるよう取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を行い、虐待についての理解を深め、利用者様の生活の向上に努めます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、研修に参加し、相談や問い合わせがあった場合や利用者様の状況に合わせて対応している。又、全体会議やユニット会議でも、施設内研修を行い、職員のスキルアップを実施しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族に理解して頂ける様にゆっくりとご納得頂けるまで、しっかりとご説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年四回開催し、直接的にご意見、ご要望を伺っています。また、家族へのアンケートなども実施しケアの向上に努めています。	利用者とは日頃の会話から、「ビールが飲みたい」、「嫁を褒めて欲しい」などの要望に対応されている。また、家族会が定期的に行われ、職員手作りの料理を提供し、ケアや運営への家族の思いを聴くよう努められている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議とユニット会議を行い、職員の提案や業務内容等の意見交換を行い、改善すべき所を早期に発見し、対応しています。	「ちよこつと会議」がコミュニケーションツールとなり、日々起こる小さなことでも、その場で話し合わせ解決につながられている。さらに、委員会やユニット会議などでは職員からの意見・提案を収集し、事業所の運営にも反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に面談をし、職員が向上心を持って働ける様、環境・条件を話し合いながら、業務の評価を行っています。また、個別でも相談もすぐに対応できるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの為、施設内研修を行い、ケアの向上に努めている。又、地域での勉強会や、社内研修にも参加できるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ施設間で協議会や意見交換会を実施しており、それぞれの課題や個性を話合うことで、情報を共有し、向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心感を持って頂ける様に常に、笑顔で接し、ご本人のご要望に出来るだけ添える様に、傾聴し支援しています。信頼関係を築ける様にコミュニケーションも大切にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から入居に至るまでの経緯や要望を伺い、ケアプランにしっかりと残し、実践する事により、信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」に一番課題となっている事を、スタッフ内で、すぐに検討し、必要があれば受診等を優先的に行い、ご本人、ご家族が安心した生活が送れるよう支援します。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	衣食住にまつわる家事労働を共に行い、職員と利用者が会話しながら、信頼関係を築き、家族の様なケアが出来るようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会で行事と共に合わせて実施する事で、ご家族と触れ合う機会を作り、お互いが要望を良く話し合い、同じ目標を持ってご利用者との距離が離れない様にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人、友人らといつでも気軽に訪問や外出が出来る様にしています。また、家族旅行などの希望があれば、ご利用者様の状態を見ながら説明し、参加して頂いています。	入居前に住まれていた地域の運動会や老人会に出かけるなど、昔からのつきあいが大切にされている。また、自宅や家族の家に泊りに出かけた時、墓参りや映画鑑賞、買い物など慣れ親しんだことを楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者の関係や身体状態を配慮し、食事席やレクリエーションの席等を配慮しています。また、掃除や洗濯などもお互いで協力して頂ける様支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退院後も連絡を取り合い、利用者様、ご家族様の相談にのり、施設とご家族様の繋がりを大切にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人(利用者様)の意思、希望を把握し、思いを尊重し、ありのままの生活を送って頂ける様に支援しております。	利用者の表情や仕草などから、喜びなのか拒否なのかを見極めながら、思いや意向の把握に努められている。配偶者や子供たちだけでなく、お嫁さんなどの意見も参考にされ、一方的な思い込みの対応にならないよう取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人が困難な場合はご家族へ伺うが、その他は、ご本人の分かる範囲で今までの生活歴を記入して頂き、それを元に、ご家族様へ話を伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ユニット会議でのカンファレンスや、毎日の申し送り、バイタルチェック、排泄、記録の共有に努め、現状を理解し、出来る事を見つけ支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送りのや、カンファレンス、介護記録で、一人ひとりの生活状況の把握に努め、家族や利用者様と話し合い、介護計画を作成しています。	各支援項目ごとに具体的な内容のケアプランが作成され、そこから落とし込みがなされた介護援助計画に基づきケアが実践されている。看取り支援を行っている利用者についても、介護や医療以外の外出などの支援も盛り込まれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人支援記録やケアプランの実践状況がわかる様に番号を記入すると共に、ユニット会議でのカンファレンス等で利用者様の情報を共有をして介護支援計画の見直しに役立っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方にあったケア、ニーズを理解し、利用者様の身体状況やご家族等に応じて、他施設への入所方法の相談に応じ支援体制を強化しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の希望により映画を見に行ったり、買い物を楽しんだりしています。また、行事等で、ボランティアの要請を行い利用者様との交流を深めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による月2回の往診時と、訪問看護師との連携により一人ひとりの状況を伝え、指示を仰いでいます。また、受診の際も職員が同行し詳しく現状を報告する事も行っています。	かかりつけ医への受診は家族対応が基本だが、ケアマネジャーが同行することもあり、家族対応時には事前に書類に落とし込んだ情報を提供し、医師に聴いて欲しいことなどが正確に伝わるよう支援がなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度訪問看護師に来院して頂き、個々の健康状態を問診して頂いている。医療処置はもちろん、処置後の対応観察方法の指示を仰いでいる。夜間・休日の連絡も可能。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時においても、ご家族との連絡を常にとり、職員も出来るだけお見舞いに行っています。その際、病院関係者とも、ご家族を通じて連携を持つようにして、早期退院へと繋いでいます。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化終末期における情報の共有はスムーズに行われており、ケアプランもその都度、見直し、検討を繰り返し、変化するご本人の状況とご家族の気持ちを配慮している。	知識豊富なケアマネジャーを中心に「品格ある看取り」を目指した取り組みがなされている。医師や訪問看護師との連携を図り、重度化が進み、点滴やパルソンなどの医療行為の必要な利用者への支援にも取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご家族にあらかじめ、緊急時の搬送先、要望を聞いておき、ご家族と職員が不安にならないようにしている。また、勉強会もしっかりと行い、対応出来るようにしておく。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・避難訓練を年に数回実施している。その際は、行政・民生委員の方にも参加して頂き、ご利用者にも消火器訓練等をして頂きます。防災への取り組みを強化し緊急時は、近隣の方、学校へ協力を仰いでいます。	民生委員や家族、地域住民の参加を得て、定期的な防災訓練に取り組まれ、各フロアごとの避難方法などを確認されている。運営推進会議の参加者のほか、近くのコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどへの協力要請が行われている。	災害発生時、応援職員や地域の協力者への指示や役割分担などの明確化を図り、それに基づいた訓練を実施される取り組みに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者の生活歴や職歴に応じ、ご家族がどの様に呼んでいたかの確認し、ご本人の満足する声掛けで対応するようにしています。また、分からない事や出来ない事が増えてくる中で、できる事に対象める様にしています。	一人ひとりの人格を尊重し、暴力や徘徊などに対しても、理由があるとの発想で対応されている。利用者に関する書類などは、鍵のある保管庫に収納され、廃棄は委託業者に依頼することで、個人情報の洩れ防止などに対応されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者との会話の中から希望や思いを受け止めながら、ご利用者がわかりやすい言葉掛けや説明の仕方を配慮し、納得の行く支援が出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気の良い日は、散歩や庭の草取り、水やりをご本人のペースに合わせながら意思を大切にすることで役割の重大性を感じ生きる喜びに繋げられるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に施設内で散髪を実施し、希望があれば、ご家族様の承諾を取り、髪染めも行っています。又、職員が季節毎の衣替えも行い、外出時も職員と一緒に衣類のコーディネートを行っています。清潔保持の為、爪切りなども徹底しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事だけでなく、食事会やお誕生日会を行い、雰囲気作りも大切にしています。	日常の食事は、定期的に届けられる食材を使用して職員が作られている。自由メニューの日が設けられ、お好み焼きや鍋パーティー、ラーメン、蕎麦類などが提供され、誕生会には食事のセレクトや好みのケーキを選べるなど、食事を楽しんでいただいている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を確認し、申し送り等で、情報を共有しています。また、病歴による食事制限の場合、担当医へ相談し、支援しています。体調不良時も個別に支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアの声掛けや、支援をし、入歯の方は夜間に洗浄を行っています。また、月に2回の訪問歯科の往診もあり、ご本人からの希望があれば、すぐに相談ができる環境になっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様の排泄チェックを行いその方の回数やリズムを把握する事で、パットやオムツの使用量を調節を行い、清潔を保持し安心してトイレに行けるよう支援しています。	排泄チェック表をもとに、リズムを掴み、定時誘導を行い、バランスが整わなくなった時には、その都度カンファレンスを実施し、プランを見直している。失敗された時は、他の利用者にわからないよう居室や浴室に移動し、落ち込まないよう言葉がけを大切にケアがなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日必ず認知症進行予防のレクと同時に、腸を動かす体操を実施し、食事、水分補給に関しましても、乳製品などを使用しています。それでも解消しない場合は、訪問看護、主治医に相談し、下剤等を使用させて頂いております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は基本毎日実施しており、その日の体調や利用者様の要望を聞き、バイタルの管理を徹底し安心して入浴できる様、支援しております。また、バラ風呂やゆず湯などで季節感や香りを楽しんで頂いております。	元気な利用者には、自分でゆっくり入っていただいたり、仲の良い同士で入浴されている。利用者のADLの低下に対応して、湯船に入れなくても、湯気を体に当てて温まっていたりなど、浴室での工夫がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の居室は、常に清潔で整理しており、好きな時間に静養出来る環境を提供しています。また、昼夜逆転にならないに配慮し、声掛けを行い、レクリエーションに参加して頂き、夜ゆっくり寝られる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては、誤薬が起きないように服薬チェック表と職員による何重もの確認を行っています。又、内服薬に変更があった場合は、副作用、用法、用量を皆で理解し、申し送りの徹底をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯のも畳み、干しや花の水やり、回覧板を回す事、トマト栽培などの役割りを持ってもらう事で、責任感や楽しみの感じ、気分転換が出来るよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出レクを定期的に行い、季節を感じ頂くことや、地域との交流を図っています。個々に対しても一緒に買い物に行ったり、映画を見に行ったりし、楽しんで頂いております。	ショッピングセンターに出かけ、自分の好きな洋服を選ばれたり、食事を楽しむなどの支援がなされている。外に出ることで季節を感じていただけるよう気を配り、花見などのほか、ウッドデッキや駐車場に出てお茶を楽しむなどの取り組みも行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員が行っています。しかし、外出レクなどの際には、見守りのもと、利用者様にお金をもって頂き、食べ物や飲み物をご自分で買って頂ける様支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	混乱を引き起こす可能性が無い方は、職員と一緒に電話をしています。又、毎年、年賀状や暑中見舞いのやりとりを行い、その際、文字が書ける方はご本人に書いて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの掲示板を活用し、毎月、季節感を感じる事が出来るよう壁画などを皆で作っています。また、居室にも生活日常の写真や作製した物を展示し、居心地の良い環境を作っています。	観葉植物のほか、紅梅・白梅の飾りや宇宙を表す大作が飾られ、利用者はソファで談笑したり、テレビをみるなどゆっくりつるげる共用空間作りがなされている。加湿や衛生面にも気を配り、清掃や消毒などはこまめに行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファは自由に活用でき、気に入った所に座る事ができ、利用者様同士がテレビみたり、談笑したりとゆっくりできる所を作っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者様が、使い慣れた家具や日用品を配置し、ご家族の写真や手紙などを置き、安心して心地良い空間を支援しています。	家族の写真や若き日の思い出の写真、炬燵など、思い思いの物を持ち込まれ、自分の居場所として生活していただいている。ラジオを聴いたり、針仕事をしたり、職員と一緒にモップかけをするなど、様々な利用者の姿が見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員は見守りと一緒にやる事を重視し、掃除用具の場所を理解して頂いたり、エレベーターを自由に使い職員の代わりに用事を済まして下さったりと、できる事、分かる事を大切にしています。		

(別紙4(2))

事業所名:加須グループホームそよ風

目標達成計画

作成日:平成 28年 3月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	人員不足に伴い質の高い勉強会を開けない場合がある	職員を集め、多くの意見、知識が持ち会える様な勉強会をひらく。	求人などに力を入れて早急に確保する。	6ヶ月
2	49	ご家族様からも指摘があった様に、外出をしているのかわからないと言う意見が聞かれた。	外出などを増やし、ご家族に理解して頂ける様にする。	イベント企画を早めに準備し、利用者様が楽しめる様にする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。